



長野県の中央部、標高759mの諏訪湖を中心とする盆地と、それを取り囲む八ヶ岳・霧ヶ峰などの山々からなる諏訪地方。諏訪湖の「御神渡り」に代表されるような中部高地独特の自然環境を舞台として、古来脈々と営まれてきた人々の生活は、御柱祭で知られる諏訪信仰をはじめ、さまざまな文化をはぐくんできました。当館では、これら諏訪の風土と歴史をわかりやすく、また、来館者の皆さんの自由な発想と視点で御覧いただけるよう展示を行なっております。



1階の**特別展示室**では、世界のチョウ約2,000頭を展示。他に、御柱祭の記録ビデオ上映(常時)や、**企画展示室**を中心とする年数回の企画展示などを実施しております。

2階の**常設展示室1**では自然信仰から発生し、中世に戦の神として信仰を集め、武田氏に滅ぼされてからは民衆のものとなった諏訪信仰の歴史を時代順に紹介。また、アニメによる諏訪の竜蛇伝説もお楽しみください。中央ステージでは映像を交え御柱祭の概要、世界の柱祭を紹介しています。

常設展示室2では、御神渡りに代表されるように、自然と共に暮らし自然の中に神を実感して生きてきた諏訪の人々の暮らしを「湖」「里」「山」「人」に分け、諏訪の七不思議や伝説と、諏訪に特有の民具、漁具を通じて語りかけます。中央の「人」のコーナーでは諏訪出身の考古学者、藤森栄一が諏訪の風土の中でひたすらに生きた姿を、日記や考古資料と共に紹介します。



穴場遺跡出土蛇体土器(縄文時代)
諏訪の神の正体は「竜」と言われます。この土器につけられた蛇のような飾りは竜蛇伝説のルーツを示しているのでしょうか。

諏訪湖の御神渡り

常設展示2では、床上に描かれた諏訪湖の上に立つアーチをくぐると、厳寒期の諏訪湖に出現する氷の山脈、御神渡りの轟音が響きます。



御柱祭

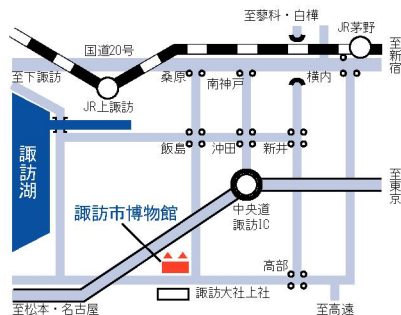
諏訪神社は上社に男神タケミナカタノカミ、下社に女神ヤサカトメノカミを祀る古い神社ですが、元は巨石巨木信仰など、自然信仰から発しているといわれています。その中で遅くとも平安時代頃からトラ・サル年の7年目ごと、社殿建替えと共に行なわれてきたのが御柱祭です。山中より巨木を伐採してきて神社の周囲に4本ずつ立て、諏訪信仰圏の時間と秩序を更新するための祭りですが、謎も多く残されています。

博物館へはかりんちゃんバスが便利です!

“かりんちゃんバス”は、市がバス会社に運行を委託しているコミュニティバスの愛称です。当館のすぐそばにバス停があり、JR上諏訪駅方面からお越しになるのに大変便利です。運賃一律で中学生以上の**大人が150円、小学生が80円**になります。

JR上諏訪駅から諏訪市博物館までのかりんちゃんバス時刻表(※開館時間中運行のみ案内)

- A: 市内循環内回り線(「上諏訪駅東口」バス停より乗車。「上社」下車)**
①7:18発→8:00着 ②8:46発→9:27着 ③10:26発→11:11着 ④12:11発→12:56着 ⑤13:56発→14:41着 ⑥15:41発→16:26着
- B: 市内循環外回り線(「上諏訪駅西口」バス停より乗車。「上社」下車)**
①8:10発→8:59着 ②9:49発→10:44着 ③11:36発→12:26着 ④13:16発→14:11着 ⑤15:01発→15:59着
- C: すわっこランド上社・有賀線(「上諏訪駅西口」バス停より乗車。「諏訪市博物館」下車)**
①10:58発→11:19着 ②13:36発→13:57着 ③16:08発→16:29着



- 所在地 長野県諏訪市中洲171-2 (上社本宮のすぐそばです) TEL 0266-52-7080
- 入館料 一般310円、小中学生150円 (団体20名以上:一般210円、小中学生100円)
- 開館時間 午前9時~午後5時
- 休館日 月曜・祝日の翌日・年末 (くわしくは博物館へおたずねください。)
※身障者用トイレ、エレベーター、車椅子・ベビーカーあり



屋外には地元温泉を利用した足湯があります(無料)
※午前9時~午後4時まで